

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年01月28日

計画の名称	竹見台・桃山台地区のまちづくり												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和02年度 (3年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	吹田市												
計画の目標	竹見台・桃山台近隣センターが位置する千里ニュータウンは、良好な住環境を供えた大量の住宅を供給するため計画され、昭和36年から開発されたまちであり、近隣住区論にもとづいて道路、鉄道、公園、学校、商店などを総合的、計画的に配置しているまちである。このうち、近隣センターは徒歩圏において日常の生活の利便性を提供するための場所として、各住区に1~2箇所配置するように計画され、生鮮食料品を主体とするマーケット、日常雑貨等の小売店舗、飲食喫茶、理美容、銀行、公衆浴場等のサービス施設と共に、郵便局、派出所、集会所等を配置する計画とされた。しかし、近年は、近隣センターの商業環境は大きく変化し、利用者の減少などによる衰退が指摘されている。そこで、民間活力による商業機能の更新や、公共公益施設の再整備により、近隣センターの魅力、集客力を高め、活性化を図り、再生を目指すものです。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	28	A	28	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R01末	R02末
1	事業実施に向けた、土地・建物所有者の合意形成割合を0%から100%にする。 土地・建物所有者の合意形成割合 土地・建物所有者の合意形成割合(%) = 事業に合意している土地・建物所有者の数 / 全土地・建物所有者の数	0%	30%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	吹田市	直接	吹田市	-	-	基本計画等作成等事業(竹見台・桃山台近隣センター地区)	推進計画等策定(2.98ha)	吹田市						28		-	
												小計						28		
											合計						28			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31			
配分額 (a)	2	3			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	2	3			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	2	3			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 竹見台・桃山台地区のまちづくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) まちづくりの目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標を設定している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置付けが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 計画の目標と・指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 目標及び事業内容と事業区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 地域資源の活用やハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画が事業実施期間内に完了する。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	竹見台・桃山台地区のまちづくり	交付対象	吹田市
計画の期間	平成30年度～令和2年度（3年間）		

